

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 5月31日 更新

事務事業名		熊本県農業会議参画事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	農業委員会	課長名	立山 和文
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	農業委員会	担当者名	安永恵藏
	基本事業	18	農業振興地域の形成			所属班	農地班	(内線)	1182
予算科目		会計 一般	款 6	項 1	目 1	事業連番 10177	法令 根拠	農業委員会等に関する法律	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】	農業会議との連絡調整及び会議、研修会等に積極的に参加し、農業委員会職員及び農業委員としての知識向上を図る。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	各農業委員への通知、研修会の同行・参加
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金、旅費
【意見や要望】	なし 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO) 熊本県農業会議に負担金を支払い、農業委員会に関する情報を定期的に入手し、農業委員会に関する研修に参加した。	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 熊本県農業会議に負担金を支払い、農業委員会に関する情報を定期的に入手し、農業委員会に関する研修に参加する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ⇒ア研修に参加した人数 イ	予算の主な増減の理由 (単位) 人
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 ・農業委員会職員・農業委員	②対象指標(対象の大きさを表す指標) ⇒ア農業委員会職員数 イ農業委員数 (単位) 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・農業委員の現状及び最新情報を入手できる。・農業委員会に関する知識を身につける	③成果指標(意図の達成度を表す指標) ⇒ア新たな知識を身につけた委員の割合 イ新たな知識を身につけた職員の割合 (単位) %
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 平成21年2月27日に農業委員の改選が行われ、大幅に交代したので、農業委員会に関する情報を定期的に入手し、農業委員会に関する研修に参加し、農業委員としての知識を見につけるため。	

(2)各指標・総事業費の推移			単位	20年度 実績(決算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	24年度 予定	25年度 見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
① 活動指標	ア イ	人		32	32	32	32	32	32	0	
② 対象指標	ア イ	人		4	4	4	4	4	4	0	
③ 成果指標	ア イ	%		100	100	100	100	100	100	0	
		%		100	100	100	100	100	100	0	
投 入 量	事 業 費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円								(期間 限定 複数 年度 のみ 記載)
	(A)	事業費計	千円	226	254	272	229	272	272	272	
	(A)	のうち指定経費	千円	0	0	148	148	148	0	0	
	(A)	のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	人 件 費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	4 24	4 24	4 24	4 24	4 24	4 24	0	
	(B)	人件費計	千円	96	95	95	98	98	98	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円		322	349	367	327	370	370	272	

事務事業名	熊本県農業会議参画事業	所属部	農業委員会	所属課	農業委員会
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (S E E)

*原則は22年度の事後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 熊本県農業会議に負担金を支払い、農業委員会に関する情報を定期的に入手し、農業委員会に関する研修に参加する。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 毎年新たな知識を身につけるためには、毎年参加する必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業は無い。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 拠出金については均等割りと残額を農家個数・農地面積で算出しており削減は困難である。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできなか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 職員に限られるため、削減できない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 拠出金については均等割りと残額を農家個数・農地面積で算出しており公平・公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 農業委員としての、知識を身につけるため、他での対応は、できない。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

熊本県農業会議に負担金を支払い、農業委員会に関する情報を定期的に入手し、農業委員会に関する研修に参加した。毎年新たな知識を身につけるためには、毎年参加する必要がある。

4 今後の方針性（事務事業担当課案）（P L A N）

- ### (1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善）
事業のやり方改善（効率性改善） 事業のやり方改善（公平性改善）
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

		コスト		
		削減	維持	増加
成 果	向上			
	維持		○	
	低下			

- (3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策